

PRIMERGY

**PRIMERGY スイッチブレード
(10Gbps 18/8+2)
IBP (Intelligent Blade Panel)
コマンドリファレンス**

(PY-SWB105)

目次

1 章	IBP 情報の設定	5
1.1	アップリンクセットコマンド	5
1.1.1	uplink-set	5
1.2	ポートバックアップコマンド	6
1.2.1	port-backup	6
1.2.2	port-backup failback-time	7
1.2.3	port-backup change-notify	8
1.3	リンクステートコマンド	9
1.3.1	linkstate	9
1.4	ポートグループコマンド	10
1.4.1	port-group	10
1.5	VLAN ポートグループコマンド	11
1.5.1	vlan-group	11
1.5.2	vlan-group-nativevlan	12
1.6	サービス LAN コマンド	13
1.6.1	svc-lan	13
1.7	サービス VLAN コマンド	14
1.7.1	svc-vlan	14
1.8	リンクアグリゲーション/ポートチャネルコマンド	15
1.8.1	lacp	15
1.8.2	linkaggregation cee sync	16
1.8.3	linkaggregation dcbx sync	17
1.9	IGMP コマンド	18
1.9.1	igmpsnooping	18
1.10	MLD コマンド	19
1.10.1	mldsnooping	19
1.11	システム管理コマンド	20
1.11.1	lan vlan	20
1.12	ISOLATE コマンド	21
1.12.1	isolate port-group	21
1.12.2	isolate vlan-group	22
1.12.3	isolate svc-lan	23
1.12.4	isolate svc-vlan	24
1.13	CEE コマンド	25
1.13.1	cee	25
1.13.2	cee priority group	26
1.13.3	cee priority group weight	27
1.13.4	cee priority group pfc	28
1.13.5	cee priority map	29
1.13.6	cee dcbx fcoe-priority-bits	30
1.13.7	cee dcbx fcoe-priority	31
1.13.8	cee dcbx fcoe	32
1.13.9	cee dcbx iscsi-priority	33
1.13.10	cee dcbx iscsi	34
1.13.11	cee sync	35
1.13.12	dcbx sync	36
1.14	MAC 検出コマンド	37
1.14.1	mac detection use	37
1.14.2	mac detection max_user	38

1.14.3	mac detection portdisable	39
2 章	IBP ポート情報の設定	40
2.1	アップリンクセットコマンド	40
2.1.1	uplink-set	40
2.2	ポートバックアップコマンド	41
2.2.1	port-backup.....	41
2.3	ポートグループコマンド.....	42
2.3.1	port-group.....	42
2.4	VLAN ポートグループコマンド.....	43
2.4.1	vlan-group	43
2.5	サービス LAN コマンド.....	44
2.5.1	svc-lan	44
2.6	サービス VLAN コマンド.....	45
2.6.1	svc-vlan.....	45
3 章	アップリンクセットの状態表示コマンド.....	46
3.1	アップリンクセットの状態表示.....	46
3.1.1	show uplink-set	46
4 章	ポートバックアップの状態表示コマンド.....	48
4.1	ポートバックアップの状態表示.....	48
4.1.1	show port-backup	48
5 章	リンクステートの状態表示コマンド.....	50
5.1	リンクステートの状態表示.....	50
5.1.1	show linkstate	50
6 章	ポートグループの状態表示コマンド.....	51
6.1	ポートグループの状態表示.....	51
6.1.1	port-group.....	51
7 章	VLAN ポートグループ状態表示コマンド.....	53
7.1	VLAN ポートグループの状態表示	53
7.1.1	show vlan-group	53
8 章	サービス LAN の状態表示コマンド.....	55
8.1	サービス LAN の状態表示.....	55
8.1.1	show svc-lan.....	55
9 章	サービス VLAN の状態表示コマンド.....	57
9.1	サービス VLAN の状態表示.....	57
9.1.1	show svc-vlan	57
10 章	LACP の状態表示コマンド.....	59
10.1	LACP の状態表示.....	59
10.1.1	show lacp	59
11 章	リンクアグリゲーション状態表示 コマンド.....	60
11.1	リンクアグリゲーションの状態表示.....	60
11.1.1	show linkaggregation	60
12 章	IGMP の状態表示コマンド.....	62
12.1	IGMP の状態表示	62
12.1.1	show igmpsnooping.....	62
13 章	MLD の状態表示コマンド.....	63
13.1	MLD の状態表示	63
13.1.1	show mldsnooping	63

14 章	MAC 検出状態表示,クリア操作コマンド.....	64
14.1	MAC 検出状態の表示	64
14.1.1	show mac detection	64
14.2	MAC 検出状態のクリア	66
14.2.1	clear mac detection.....	66
15 章	ターミナル操作.....	67
15.1	ターミナル操作コマンド.....	67
15.1.1	pager	67
15.1.2	show pager	68
16 章	IBP 情報のクリアと変更.....	69
16.1	ポートグループ情報のクリア	69
16.1.1	clear port-group.....	69
16.2	ポートグループ名などの変更コマンド	70
16.2.1	rename-uplinkset	70
16.2.2	rename-pgroup	71
16.2.3	rename-vlanpgroup	72
16.2.4	rename-svclan	73
16.2.5	rename-svcvlan	74
17 章	Switch ファームウェア共通コマンド.....	75
18 章	コマンド実行時の影響	77

1 章 IBP 情報の設定

1.1 アップリンクセットコマンド

1.1.1 uplink-set

[機能] アップリンクセットの作成/削除

[入力形式] uplink-set <uplinkSetName>
no uplink-set <uplinkSetName>

[オプション]

<uplinkSetName>

- ・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] アップリンクセットを作成します。

- [注意]**
- ・最大 18 個のアップリンクセットを作成することが可能です。
 - ・ポートグループ等のグループに割り当てられているアップリンクセットは削除できません。
 - ・アップリンクセットを削除するにはグループに割り当てられていない状態にする必要があります。

[未設定時] アップリンクセット “default”が定義された状態となります。

uplink-set “default”

1.2 ポートバックアップコマンド

1.2.1 port-backup

[機能] ポートバックアップ機能の有効/無効設定

[入力形式] port-backup <uplinkSetName>
no port-backup <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでポートバックアップ機能を有効/無効に設定します。

[注意] ・定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] ポートバックアップ機能が無効に設定された状態となります。
no port-backup <uplinkSetName>

1.2.2 port-backup failback-time

[機能] ポートバックアップ機能のフェイルバック時間設定

[入力形式] port-backup <uplinkSetName> failback-time <failbackTime>
no port-backup <uplinkSetName> failback-time

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<failbackTime>

・フェイルバック時間

フェイルバック時間を 1~60 秒の範囲で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでポートバックアップ機能を有効/無効に設定します。

[注意]

- ・定義されているアップリンクセット名を指定します。
- ・ no port-backup コマンドを実行した場合、デフォルトの 60 秒に戻ります。
- ・本コマンド実行でポートバックアップの有効/無効は変更されません。

[未設定時] 60 秒が設定された状態となります。

port-backup <uplinkSetName> failback-time 60

1.2.3 port-backup change-notify

[機能] ポートバックアップ切り替え発生時のMAC学習フレーム送信有無設定

[入力形式] port-backup <uplinkSetName> change-notify
no port-backup <uplinkSetName> change-notify

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] ポートバックアップ切り替え発生時にMAC学習フレームを送信するかしないかを設定します。

[注意]

- ・定義されているアップリンクセット名を指定します。
- ・ no port-backup コマンドを実行した場合、デフォルトの 60 秒に戻ります。
- ・本コマンド実行でポートバックアップの有効/無効は変更されません。

[未設定時] MAC 学習フレームを送信します。

port-backup <uplinkSetName> change-notify

1.3 リンクステートコマンド

1.3.1 linkstate

[機能] アップリンクセットでのリンクステート機能の有効/無効設定

[入力形式] linkstate <uplinkSetName>
no linkstate <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでリンクステート機能を有効/無効にします。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] アップリンクセットのリンクステート機能が有効に設定された状態となります。
linkstate <uplinkSetName>

1.4 ポートグループコマンド

1.4.1 port-group

[機能] ポートグループの作成/削除、およびポートグループへアップリンクセットの割り当て/変更/開放

[入力形式] port-group <portGroupName> [<uplinkSetName>]
no port-group <portGroupName> [<uplinkSetName>]

[オプション] <portGroupName>

- ・ポートグループ名

ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<uplinkSetName>

- ・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] ポートグループの作成/削除、およびポートグループへアップリンクセットの割り当て/変更/開放を行います。

[注意]

- ・最大 18 個のポートグループを作成することが可能です。
- ・ポートグループ "default" の削除はできません。
- ・定義されているアップリンクセット名を指定します。ただし、既にポートグループ、VLANポートグループ、サービスLANに割当てられているアップリンクセットを指定することはできません。

[未設定時] ポートグループ "default" が定義された状態となります。
port-group "default"

1.5 VLAN ポートグループコマンド

1.5.1 vlan-group

[機能] VLAN ポートグループの作成/削除

[入力形式] vlan-group <vlanGroupName> <vlanID> <uplinkSetName>
no vlan-group <vlanGroupName>

[オプション] <vlanGroupName>

・ VLAN ポートグループ名

VLAN ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<vlanID >

・ VLAN ID

VLAN ポートグループ用のフレームの VLAN ID を 1-4094(1006-1024 を除く)で指定します。

<uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] VLAN ポートグループの作成/削除を行います。

[注意]

- ・ 最大 1000 個の VLAN ポートグループを作成することが可能です。
- ・ 定義されているアップリンクセット名を指定します。ただし、既にポートグループ、サービス LAN に割当てられているアップリンクセットを指定することはできません。
- ・ 複数の VLAN ポートグループおよびサービス VLAN で同一のアップリンクセットを共有する場合、重複する VLAN ID を指定することはできません。

[未設定時] VLAN ポートグループが未作成であるものとみなします。

1.5.2 vlan-group-nativevlan

[機能] VLAN ポートグループのネイティブVLAN設定/解除

[入力形式] vlan-group-nativevlan <vlanGroupName>
no vlan-group-nativevlan <vlanGroupName>

[オプション] <vlanGroupName>

・ VLAN ポートグループ名

ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] VLAN ポートグループにネイティブVLANを設定/解除します。

[注意] ・ 定義されているVLANポートグループ名を指定します。
・ 複数のVLANポートグループで同一のアップリンクセットを共有する場合、ネイティブVLANは1つのVLANポートグループのみに指定することができます。

[未設定時] VLANポートグループのネイティブVLANが解除されているものとみなします。

no vlan-group-nativevlan <vlanGroupName>

1.6 サービスLANコマンド

1.6.1 svc-lan

[機能] サービス LAN の作成/削除

[入力形式] svc-lan <svcLanName> <vlanID> <uplinkSetName>
no svc-lan <svcLanName>

[オプション] <svcLanName>

・ サービス LAN 名

サービス LAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<vlanID >

・ VLAN ID

サービス LAN 用のフレームの VLAN ID を 1-4094(1006-1024 を除く)で指定します。

<uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] サービス LAN の作成/削除を行います。

[注意] ・ 最大 18 個のサービス LAN を作成することが可能です。

・ 定義されているアップリンクセット名を指定します。ただし、既に他のグループに割当てられているアップリンクセットを指定することはできません。

・ VLAN ID は定義済みのサービス LAN、サービス VLAN および、ダウンリンクポートを共有する VLAN ポートグループとの間でユニークでなければなりません。

[未設定時] サービス LAN が未作成であるものとみなします。

1.7 サービス VLAN コマンド

1.7.1 svc-vlan

[機能] サービス VLAN の作成/削除

[入力形式] `svc-vlan <svcVlanName> <vlanID> <uplinkSetName>`
`no svc-vlan <svcVlanName>`

[オプション] <svcVlanName>

・ サービス VLAN 名

サービス VLAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<vlanID >

・ VLAN ID

サービス VLAN 用のフレームの VLAN ID を 1-4094(1006-1024 を除く)で指定します。

<uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] サービス VLAN の作成/削除を行います。

- [注意]**
- ・ 最大 1000 個のサービス VLAN を作成することが可能です。
 - ・ 定義されているアップリンクセット名を指定します。ただし、既にサービス LAN に割当てられているアップリンクセットを指定することはできません。
 - ・ VLAN ID は定義済みのサービス LAN、サービス VLAN および、アップリンクポート/ダウンリンクポートを共有する VLAN ポートグループとの間でユニークでなければなりません。

[未設定時] サービス VLAN が未作成であるものとみなします。

1.8 リンクアグリゲーション/ポートチャネルコマンド

1.8.1 lacp

[機能] アップリンクセットでの LACP 機能の有効/無効設定

[入力形式] lacp <uplinkSetName>
no lacp <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットで LACP 機能を有効/無効にします。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] アップリンクセットの LACP 機能が無効に設定された状態となります。

no lacp <uplinkSetName>

1.8.2 linkaggregation cee sync

[機能] リンクアグリゲーションの CEE 機能設定モード指定

[入力形式] linkaggregation <group> cee sync <mode>

[オプション] <group>

・リンクアグリゲーショングループ番号

リンクアグリゲーショングループ番号を、10 進数で設定します。

範囲
1~10

<mode>

リンクアグリゲーションで CEE 機能の設定モードを指定します。

・ enable

割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

・ disable

リンクアグリゲーションごとの設定に従います。

[動作モード] Global Config モード

[説明] リンクアグリゲーションで CEE を個別に設定するモードを指定します。

[注意] なし

[未設定時] 割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

linkaggregation <group> cee sync enable

1.8.3 linkaggregation dcbx sync

[機能] リンクアグリゲーションの DCBX 機能設定モード指定

[入力形式] linkaggregation <group> dcbx sync <mode>

[オプション] <group>

・リンクアグリゲーショングループ番号

リンクアグリゲーショングループ番号を、10 進数で設定します。

範囲
1~10

<mode>

リンクアグリゲーションで DCBX 機能の設定モードを指定します。

・ enable

割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

・ disable

リンクアグリゲーションごとの設定に従います。

[動作モード] Global Config モード

[説明] リンクアグリゲーションで DCBX を個別に設定するモードを指定します。

[注意] なし

[未設定時] 割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

linkaggregation <group> dcbx sync enable

1.9 IGMP コマンド

1.9.1 igmpsnooping

[機能] アップリンクセットでの IGMP スヌーピング機能の有効/無効設定

[入力形式] igmpsnooping <uplinkSetName>
no igmpsnooping <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットで IGMP スヌーピング機能を有効/無効にします。

[注意] ・定義されているアップリンクセット名を指定します。

・指定したアップリンクセットの IGMP スヌーピング機能と MLD スヌーピング機能の設定は同じにする必要があります。

[未設定時] アップリンクセットの IGMP スヌーピング機能が有効に設定された状態となります。

igmpsnooping <uplinkSetName>

1.10 MLD コマンド

1.10.1 mldsnooping

[機能] アップリンクセットでの MLD スヌーピング機能の有効/無効設定

[入力形式] mldsnooping <uplinkSetName>
no mldsnooping <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットで MLD スヌーピング機能を有効/無効にします。

[注意] ・定義されているアップリンクセット名を指定します。
・指定したアップリンクセットの MLD スヌーピング機能と IGMP スヌーピング機能の設定は同じにする必要があります。

[未設定時] アップリンクセットの MLD スヌーピング機能が有効に設定された状態となります。

mldsnooping <uplinkSetName>

1.11 システム管理コマンド

1.11.1 lan vlan

[機能] In-Band Management に対して IBP のグループを設定

[入力形式] lan vlan port-group <portGroupName>
lan vlan vlan-group <vlanGroupName>
lan vlan svc-lan <svcLanName>
lan vlan svc-vlan <svcVlanName>
no lan vlan

[オプション] <portGroupName>

- ・ポートグループ名

ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

< vlanGroupName >

- ・VLAN ポートグループ名

VLAN ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

< svcLanName >

- ・サービス LAN 名

サービス LAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

< svcVlanName >

- ・サービス VLAN 名

サービス VLAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] lan コマンドで設定した In-Band Management に対して IBP のグループを設定します。

- [注意]**
- ・定義されているポートグループ名を指定します。
 - ・定義されている VLAN ポートグループ名を指定します。
 - ・定義されているサービス LAN 名を指定します。
 - ・定義されているサービス VLAN 名を指定します。

[未設定時] In-Band Management に対して IBP のグループが設定されていないものとみなします。

no lan vlan

1.12 ISOLATE コマンド

1.12.1 isolate port-group

[機能] ポートグループのダウンリンクポート間通信の禁止/許可設定

[入力形式] isolate port-group <portGroupName>
no isolate port-group <portGroupName>

[オプション] < portGroupName >

・ポートグループ名

ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] ポートグループに含まれるダウンリンクポート間での通信について禁止/許可を設定します。

[注意] 定義されているポートグループ名を指定します。

[未設定時] ポートグループのダウンリンクポート間で通信を許可されているものとみなします。

no isolate port-group <portGroupName>

1.12.2 isolate vlan-group

[機能] VLAN ポートグループのダウンリンクポート間通信の禁止/許可設定

[入力形式] isolate vlan-group <vlanGroupName>
no isolate vlan-group <vlanGroupName>

[オプション] < vlanGroupName >

・ VLAN ポートグループ名

VLAN ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] VLAN ポートグループに含まれるダウンリンクポート間での通信について禁止/許可を設定します。

[注意] 定義されている VLAN ポートグループ名を指定します。

[未設定時] VLAN ポートグループのダウンリンクポート間で通信を許可されているものとみなします。
no isolate vlan-group <vlanGroupName>

1.12.3 isolate svc-lan

[機能] サービス LAN のダウンリンクポート間通信の禁止/許可設定

[入力形式] isolate svc-lan <svcLanName>
no isolate svc-lan <svcLanName>

[オプション] < svcLanName >

・ サービス LAN 名

サービス LAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] サービス LAN に含まれるダウンリンクポート間での通信について禁止/許可を設定します。

[注意] 定義されているサービス LAN 名を指定します。

[未設定時] サービス LAN のダウンリンクポート間で通信を禁止されているものとみなします。

isolate svc-lan <svcLanName>

1.12.4 isolate svc-vlan

[機能] サービス VLAN のダウンリンクポート間通信の禁止/許可設定

[入力形式] isolate svc-vlan <svcVlanName>
no isolate svc-vlan <svcVlanName>

[オプション] < svcVlanName >

・ サービス VLAN 名

サービス VLAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] サービス VLAN に含まれるダウンリンクポート間での通信について禁止/許可を設定します。

[注意] 定義されているサービス VLAN 名を指定します。

[未設定時] サービス VLAN のダウンリンクポート間で通信を禁止されているものとみなします。

isolate svc-vlan <svcVlanName>

1.13 CEE コマンド

1.13.1 cee

[機能] アップリンクセットの CEE 機能有効/無効設定

[入力形式] cee <uplinkSetName>
no cee <uplinkSetName>

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットで CEE 機能を有効/無効に設定します。

[注意]

- ・定義されているアップリンクセット名を指定します。
- ・アップリンクセットが使用されていないかポートグループ、VLAN ポートグループにアサインされている場合のみ CEE を有効に変更できます。
- ・アップリンクセットを削除するにはグループに割り当てられていない状態にする必要があります。

[未設定時] アップリンクセットは CEE 機能が無効に設定された状態となります。

no cee <uplinkSetName>

1.13.2 cee priority group

[機能] アップリンクセットの CEE プライオリティグループを定義

[入力形式] cee priority group <pg> use on

no cee priority group <pg> use

[オプション]

<pg >

・ プライオリティグループ番号

プライオリティグループ番号を、10 進数で設定します。

範囲
0~ 7, 15

[動作モード] Global Config モード

[説明] アップリンクセットで CEE プライオリティグループを定義します。

[注意]

- ・ 定義されているアップリンクセット名を指定します。
- ・ プライオリティグループの定義は 0~7 のうちの 2 つと、15 が設定可能です。
- ・ アップリンクセットを削除するにはグループに割り当てられていない状態にする必要があります。

[未設定時] アップリンクセットにプライオリティグループが定義されない状態となります。

no cee priority group <pg> use

1.13.3 cee priority group weight

[機能] アップリンクセットのプライオリティグループの帯域幅の指定

[入力形式] cee <uplinkSetName> priority group <pg> weight <weight>

no cee <uplinkSetName> priority group <pg> weight

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<pg >

・プライオリティグループ番号

プライオリティグループ番号を、10 進数で設定します。

範囲
0~7

<weight >

・プライオリティグループで使用する帯域幅を設定します。

Deficit Weighted Round Robin (DWRR)の割合を 10 進数で設定します。

範囲
1~100

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットのプライオリティグループの帯域幅を指定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] アップリンクセットにプライオリティグループの帯域幅が定義されない状態となります。

no cee <uplinkSetName> priority group <pg> weight

1.13.4 cee priority group pfc

[機能] プライオリティグループの PFC 有効/無効の設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> priority group <pg> pfc
no cee <uplinkSetName> priority group <pg> pfc

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<pg >

・プライオリティグループ番号

プライオリティグループ番号を、10 進数で設定します。

範囲
0~ 7,15

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] プライオリティグループの PFC 有効/無効を設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] プライオリティグループの PFC は無効設定された状態となります。

no cee <uplinkSetName> priority group <pg> pfc

1.13.5 cee priority map

[機能] 入力フレームのプライオリティに対するプライオリティグループの設定

[入力形式] cee priority map <pg0> <pg1> <pg2> <pg3> <pg4> <pg5> <pg6> <pg7>

no cee priority map

[オプション] <uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<pg 0>

プライオリティ 0 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 1>

プライオリティ 1 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 2>

プライオリティ 2 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 3>

プライオリティ 3 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 4>

プライオリティ 4 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 5>

プライオリティ 5 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 6>

プライオリティ 6 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

<pg 7>

プライオリティ 7 を使用するプライオリティグループ番号を指定します。

範囲
0~ 7,15

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] 入力フレームのプライオリティに対するプライオリティグループを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] 本コマンドが未設定であるものとみなします。

1.13.6cee dcbx fcoe-priority-bits

[機能] アップリンクセットでの FCoE プライオリティ設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority-bits <value>
no cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority-bits

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<value>

・プライオリティ

プライオリティをビットマップ形式で 0~ff の 16 進数値で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでの FCoE プライオリティを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] プライオリティ 3 のみ指定したものとみなします。

cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority-bits 08

1.13.7 cee dcbx fcoe-priority

[機能] アップリンクセットでの FCoE プライオリティの設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority <prioritylist>
no cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<prioritylist>

・プライオリティリスト

プライオリティのリストを 0~7 の 10 進数値で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] アップリンクセットでの FCoE プライオリティを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] FCoE プライオリティ 3 が指定されたものとみなします。

cee <uplinkSetName> dcbx fcoe-priority 3

1.13.8 cee dcbx fcoe

[機能] アップリンクセットでの FCoE プライオリティの使用モードの設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> dcbx fcoe
no cee <uplinkSetName> dcbx fcoe

[オプション] <uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでの FCoE プライオリティの使用モードを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] FCoE プライオリティの使用モードが有効に設定されたものとみなします。

cee <uplinkSetName> dcbx fcoe

1.13.9 cee dcbx iscsi-priority

[機能] アップリンクセットでの iSCSI プライオリティの設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> dcbx iscsi-priority <prioritylist>
no cee <uplinkSetName> dcbx iscsi-priority

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

<prioritylist>

・プライオリティリスト

プライオリティのリストを 0~7 の 10 進数値で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] アップリンクセットでの iSCSI プライオリティを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] iSCSI プライオリティ 4 が指定されたものとみなします。

cee <uplinkSetName> dcbx iscsi-priority 4

1.13.10 cee dcbx iscsi

[機能] アップリンクセットでの iSCSI プライオリティの使用モードの設定

[入力形式] cee <uplinkSetName> dcbx iscsi
no cee <uplinkSetName> dcbx iscsi

[オプション] <uplinkSetName>

・ アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] アップリンクセットでの iSCSI プライオリティの使用モードを設定します。

[注意] 定義されているアップリンクセット名を指定します。

[未設定時] iSCSI プライオリティの使用モードが有効に設定されたものとみなします。

cee <uplinkSetName> dcbx iscsi

1.13.11 cee sync

[機能] ポートで CEE を個別に設定するモードの指定

[入力形式] cee sync <mode>

[オプション] <mode>

- ・ enable

割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

- ・ disable

ポートごとに設定された設定に従います。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートで CEE を個別に設定するモードを指定します。

[注意] なし

[未設定時] enable が指定されたものとみなします。

cee sync enable

1.13.12 dcbx sync

[機能] ポートで DCBX を個別に設定するモードの指定

[入力形式] dcbx sync <mode>

[オプション] <mode>

- ・ enable

割当てられているグループが使用しているアップリンクセットの設定に従います。

- ・ disable

ポートごとに設定された設定に従います。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートで DCBX を個別に設定するモードを指定します。

[注意] なし

[未設定時] enable が指定されたものとみなします。

dcbx sync enable

1.14 MAC 検出コマンド

1.14.1 mac detection use

[機能] ポートの接続端末数制限機能を有効/無効の設定

[入力形式] mac detection use <mode>

[オプション] <mode>

・ on

接続端末数制限機能を有効に指定します。

・ off

接続端末数制限機能を無効に指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートの接続端末数制限機能を有効にするか無効にするかを設定します。

[注意]

- ・ 本コマンドを動的定義変更すると該当ポートはいったん閉塞し端末検出状態を初期化します。
- ・ リンクアグリゲーションとして設定されたポートでは、本機能は無効となります。

[未設定時] off が指定されたものとみなします。

mac detection use off

1.14.2 mac detection max_user

[機能] ポートの接続端末数制限機能の接続許容端末数の設定

[入力形式] mac detection max_user <max>

[オプション] <max>

・ 接続許容端末数

接続許容端末数を 1-31 の範囲で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートの接続端末数制限機能の接続許容端末数を設定します。

[注意] ・ 本コマンドを動的定義変更すると該当ポートはいったん閉塞し端末検出状態を初期化します。

[未設定時] 接続許容端末数として 1 が指定されたものとみなします。

mac detection max_user 1

1.14.3 mac detection portdisable

[機能] ポートの接続端末数制限機能のポート閉塞モードの設定

[入力形式] mac detection portdisable <mode>

[オプション] <mode>

・ yes

ポートを自動的に閉塞します。

・ no

ポートの閉塞をしません。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートの接続端末数制限機能のポート閉塞モードを設定します。

[注意]

- ・ ポートが閉塞された場合は online コマンドでポート閉塞を解除できます。
- ・ 本コマンドを動的定義変更すると該当ポートはいったん閉塞し端末検出状態を初期化します。

[未設定時] ポート閉塞モードで no が指定されたものとみなします。

mac detection portdisable no

2 章 IBP ポート情報の設定

2.1 アップリンクセットコマンド

2.1.1 uplink-set

[機能] アップリンクセットへのアップリンクポートの追加/削除設定

[入力形式] uplink-set <uplinkSetName>

no uplink-set

[オプション] <uplinkSetName>

- ・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] アップリンクセットにアップリンクポートを追加/削除します。

[注意]

- ・定義されているアップリンクセット名を指定します。
- ・アップリンクセットにダウンリンクポートを追加することはできません。
- ・既にアップリンクセットにアサインされているアップリンクポートを指定した場合は自動的に現在のアップリンクセットから削除され指定された新しいアップリンクセットにアサインされます。

[未設定時] アップリンクセットにアップリンクポートはアサインされていない状態となります。

no uplink-set

2.2 ポートバックアップコマンド

2.2.1 port-backup

[機能] アップリンクポートをバックアップポートに追加/削除

[入力形式] port-backup
no port-backup

[オプション] なし

[動作モード] Interface Config モード

[説明] アップリンクポートをバックアップポートに追加/削除します。

[注意] なし

[未設定時] アップリンクセッにバックアップポートはアサインされていない状態となります。
no port-backup

2.3 ポートグループコマンド

2.3.1 port-group

[機能] ポートグループにダウンリンクポートを追加/削除

[入力形式] port-group <portGroupName>

no port-group

[オプション] <portGroupName>

- ・ポートグループ名

ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] ポートグループにダウンリンクポートを追加/削除する。

[注意] ・定義されているポートグループ名を指定します。

- ・ポートグループにはアップリンクポートを追加することはできません。ダウンリンクポートのみ追加可能です。

- ・既にポートグループおよび VLAN ポートグループに割り当てられているダウンリンクポートを指定する場合は、予め割り当てられているグループから削除後に実施してください。

- ・VLAN ポートグループにアサインされているポートを本コマンドで削除することはできません。

[未設定時] ポートグループにダウンリンクポートはアサインされていない状態となります。

no port-group

2.4 VLAN ポートグループコマンド

2.4.1 vlan-group

[機能] VLAN ポートグループにダウンリンクポートを追加/削除

[入力形式] vlan-group <vlanGroupName>
vlan-group <vlanGroupName> tagged
no vlan-group
no vlan-group <vlanGroupName>

[オプション] <vlanGroupName>

- ・VLAN ポートグループ名

VLAN ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] VLAN ポートグループにダウンリンクポートを追加/削除します。また、VLAN ポートグループに tagged を指定/変更します。

- [注意]**
- ・定義されている VLAN ポートグループ名を指定します。
 - ・VLAN ポートグループにはアップリンクポートを追加することはできません。ダウンリンクポートのみ追加可能です。
 - ・既に VLAN ポートグループに割り当てられているダウンリンクポートを指定する場合は、追加したい VLAN ポートグループ に tagged オプションを設定することで追加することができます。
 - ・既にポートグループに割り当てられているダウンリンクポートを指定する場合は、予め割り当てられているグループから削除後に実施してください。
 - ・ポートグループにアサインされているポートを本コマンドで削除することはできません。

[未設定時] VLAN ポートグループにダウンリンクポートはアサインされていない状態となります。

no vlan-group

2.5 サービスLANコマンド

2.5.1 svc-lan

[機能] サービスLANにダウンリンクポートを追加/削除

[入力形式] svc-lan <svcLanName>
no svc-lan <svcLanName>

[オプション] <svcLanName>

・ サービスLAN名

サービスLAN名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] サービスLANにダウンリンクポートを追加/削除します。

[注意] ・ 定義されているサービスLAN名を指定します。

・ サービスLANにはアップリンクポートを追加することはできません。ダウンリンクポートのみ追加可能です。

・ 既に VLAN ポートグループに割り当てられているダウンリンクポートを指定する場合は、VLAN ポートグループの VLAN ID と同一の VLAN ID のサービスLAN を指定することはできません。

・ 「no interface <slot>/<port>」 コマンドはインターフェースに設定された全ての設定を削除しますが、本コマンドで設定した設定情報は削除されません。

[未設定時] サービスLANにダウンリンクポートはアサインされていない状態となります。

no svc-lan <svcLanName>

2.6 サービス VLAN コマンド

2.6.1 svc-vlan

[機能] サービス VLAN にダウンリンクポートを追加/削除

[入力形式] svc-vlan <svcVlanName>
no svc-vlan <svcVlanName>

[オプション] <svcVlanName>

- ・ サービス VLAN 名

サービス VLAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Interface Config モード

[説明] サービス VLAN にダウンリンクポートを追加/削除します。

[注意] ・ 定義されているサービス VLAN 名を指定します。

- ・ サービス VLAN にはアップリンクポートを追加することはできません。ダウンリンクポートのみ追加可能です。

- ・ 既に VLAN ポートグループに割り当てられているダウンリンクポートを指定する場合は、VLAN ポートグループの VLAN ID と同一の VLAN ID のサービス VLAN を指定することはできません。

- ・ 「no interface <slot>/<port>」 コマンドはインターフェースに設定された全ての設定を削除しますが、本コマンドで設定した設定情報は削除されません。

[未設定時] サービス VLAN にダウンリンクポートはアサインされていない状態となります。

no svc-vlan <svcVlanName>

3 章 アップリンクセットの状態表示コマンド

3.1 アップリンクセットの状態表示

3.1.1 show uplink-set

[機能] 定義済アップリンクセットの表示

[入力形式] show uplink-set [<uplinkSetName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセット情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットの情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済アップリンクセットを表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set を表示する例

```
#show uplink-set
```

Uplink Set Name	External ports	External active ports	External backup ports	Link state	Port Backup	IGMP snoop	LACP
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
default	0/11,0/13,0/14,0/15,0/16	0/11,0/13,0/14,0/15	0/16	yes	no	yes	no
DB-Blade	0/12	0/12	-	yes	no	yes	no
APP-Server	-	-	-	yes	no	yes	no

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) 外部ポート

アップリンクセットにアサインされているアップリンクポートを表示します。

3) 外部アクティブポート

アップリンクセットにアサインされているアップリンクポートの内アクティブポートを表示します。

4) 外部バックアップポート

アップリンクセットにアサインされているアップリンクポートの内バックアップポートを表示します。

5) リンクステート設定状態

yes アップリンクセットのリンクステートが有効であることを示します。

no アップリンクセットのリンクステートが無効であることを示します。

6) ポートバックアップ設定状態

yes アップリンクセットのポートバックアップが有効であることを示します。

no アップリンクセットのポートバックアップが無効であることを示します。

7) IGMPsnoop 設定状態

yes アップリンクセットの IGMPsnooping が有効であることを示します。

no アップリンクセットの IGMPsnooping が無効であることを示します。

8) LACP 設定状態

yes アップリンクセットの LACP が有効であることを示します。

no アップリンクセットの LACP が無効であることを示します。

4 章 ポートバックアップの状態表示コマンド

4.1 ポートバックアップの状態表示

4.1.1 show port-backup

[機能] ポートバックアップの定義情報の表示

[入力形式] show port-backup [<uplinkSetName>
 show port-backup [<uplinkSetName>] status
 show port-backup [<uplinkSetName>] change-notify

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセットのポートバックアップ情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットのポートバックアップ情報を表示します。

status

ポートバックアップのステータスを表示します。

change-notify

ポートバックアップの Change Notify 情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] ポートバックアップの定義情報を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set の Port Backup 状態を表示する例

```
#show port-backup

Uplink Set name Port Backup External active ports External backup ports
-----
(1)              (2)              (3)              (4)
default          yes              0/14,0/15        0/16
DB-Blade         yes              0/11,0/12        0/13
APP-Server       no               -                 -
```

ポートバックアップのステータスを表示する例

```
#show port-backup status
```


Uplink Set name	Port Backup	Failback time	Current activated port
(1) default	(2) yes	(5) 60	(6) Ext. Backup Ports
DB-Blade	yes	30	Ext. Active Ports
APP-Server	no	60	-

ポートバックアップの Change Notify 情報を表示する例

Uplink Set name	Change Notify
(1) default	(7) yes
DB-Blade	yes
APP-Server	no

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) ポートバックアップ設定状態

yes アップリンクセットのポートバックアップが有効であることを示します。

no アップリンクセットのポートバックアップが無効であることを示します。

3) 外部アクティブポート

アップリンクセットにアサインされているアップリンクポートの内アクティブポートを表示します。

4) 外部バックアップポート

アップリンクセットにアサインされているアップリンクポートの内バックアップポートを表示します。

5) フェイルバック時間

アップリンクセットのフェイルバック時間を表示します。

6) カレントアクティブポート

Ext. Active Ports アクティブポートが稼働中であることを示します。

Ext. Backup Ports バックアップポートが稼働中であることを示します。

- ポートバックアップが無効か、ポートバックアップ有効時に稼働ポートがないことを示します。

7) Change Notify 設定状態

yes アップリンクセットの Change Notify が有効であることを示します。

no アップリンクセットの Change Notify が無効であることを示します。

5 章 リンクステートの状態表示コマンド

5.1 リンクステートの状態表示

5.1.1 show linkstate

[機能] リンクステートの定義情報の表示

[入力形式] show linkstate [<uplinkSetName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセットのリンクステート定義情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットのリンクステート定義情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] リンクステートの定義情報を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set の Link State 状態を表示する例

```
#show linkstate

Uplink Set name          Linkstate
-----
(1) default              (2) yes
DB-Blade                 yes
APP-Server               no
```

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) リンクステート設定状態

yes アップリンクセットのリンクステートが有効であることを示します。

no アップリンクセットのリンクステートが無効であることを示します。

6 章 ポートグループの状態表示コマンド

6.1 ポートグループの状態表示

6.1.1 port-group

[機能] 定義済みのポートグループの表示

[入力形式] show port-group [<portGroupName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのポートグループ情報を表示します。

<portGroupName>

指定されたポートグループのポートグループ情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのポートグループを表示します。

[実行例]

定義されているすべての Port Group を表示する

```
#show port-group
```

Port Group Name	Internal Ports	Uplink Set Name	External Ports	isolate
(1) default	(2) 0/1,0/2,0/3, 0/4,0/5	(3) default	(4) 0/11,0/12,0/13	(5) no
DB-Blade	0/6,0/7,0/8, 0/9,0/10	Group-A	0/14,0/15,0/16	yes

1) ポートグループ名

ポートグループ名を表示します。

2) 内部ポート

ポートグループにアサインされているダウンリンクポートを表示します。

3) アップリンクセット名

ポートグループにアサインされているアップリンクセット名を表示します。

4) 外部ポート

ポートグループにアサインされているアップリンクポートを表示します。

5) ダウンリンクポート間通信設定状態

yes ポートグループのダウンリンクポート間の通信が不可能であることを示します。

no ポートグループのダウンリンクポート間の通信が可能であることを示します。

7 章 VLAN ポートグループ状態表示コマンド

7.1 VLAN ポートグループの状態表示

7.1.1 show vlan-group

[機能] 定義済みの VLAN ポートグループの表示

[入力形式] show vlan-group [<vlanGroupName>]

[オプション] なし

定義済みのすべての VLAN ポートグループ情報を表示します。

<vlanGroupName>

指定された VLAN ポートグループの VLAN ポートグループ情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みの VLAN ポートグループを表示します。

[実行例]

定義されているすべての VLAN Port Group を表示する例

```
#show vlan-group
```

VLAN port group name	VLAN ID	Internal ports	UplinkSet name	External ports	VLAN	Native isolate
(1) DB-Blade	(2) 10	(3) 0/1	(4) Group-A	(5) 0/11	(6)	(7) no no
		0/2(Tagged)	Group-A	0/11		no no
App-Sever	30	0/1(Tagged)	Group-A	0/11		yes yes
		0/4	Group-A	0/11		yes yes

1) VLAN ポートグループ名

VLAN ポートグループ名を表示します。

2) VLAN ID

VLAN ポートグループの VLAN ID を表示します。

3) 内部ポート

VLAN ポートグループにアサインされているダウンリンクポートを表示します。

Tagged は、ダウンリンクポートに Tagged オプションが設定されていることを示します。

4) アップリンクセット名

VLAN ポートグループにアサインされているアップリンクセット名を表示します。

5) 外部ポート

VLAN ポートグループにアサインされているアップリンクポートを表示します。

6) ネイティブVLAN

yes VLAN ポートグループのネイティブVLANが有効であることを示します。

no VLAN ポートグループのネイティブVLANが無効であることを示します。

7) ダウンリンクポート間通信設定状態

yes VLAN ポートグループのダウンリンクポート間の通信が不可能であることを示します。

no VLAN ポートグループのダウンリンクポート間の通信が可能であることを示します。

8 章 サービス LAN の状態表示コマンド

8.1 サービス LAN の状態表示

8.1.1 show svc-lan

[機能] 定義済みのサービス LAN の表示

[入力形式] show svc-lan [<svcLanName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのサービス LAN 情報を表示します。

<svcLanName>

指定されたサービス LAN のサービス LAN 情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのサービス LAN を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Service LAN を表示する例

```
#show svc-lan
```

Service LAN name	VLAN ID	Internal ports	Uplink Set name	External ports	isolate
(1) DB-Manage	(2) 10	(3) 0/6,0/7,0/8, 0/9	(4) Group-A	(5) 0/13	(6) yes
App-Manage	20	0/1,0/6,0/10	Group-B	0/11	no

1) サービス LAN 名

サービス LAN 名を表示します。

2) VLAN ID

サービス LAN の VLAN ID を表示します。

3) 内部ポート

サービス LAN にアサインされているダウンリンクポートを表示します。

4) アップリンクセット名

サービス LAN にアサインされているアップリンクセット名を表示します。

5) 外部ポート

サービス LAN にアサインされているアップリンクポートを表示します。

6) ダウンリンクポート間通信設定状態

yes サービス LAN のダウンリンクポート間の通信が不可能であることを示します。

no サービス LAN のダウンリンクポート間の通信が可能であることを示します。

9 章 サービス VLAN の状態表示コマンド

9.1 サービス VLAN の状態表示

9.1.1 show svc-vlan

[機能] 定義済みのサービス VLAN の表示

[入力形式] show svc-vlan [<svcVlanName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのサービス VLAN 情報を表示します。

<svcVlanName>

指定されたサービス VLAN のサービス VLAN 情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのサービス VLAN を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Service VLAN を表示する例

```
#show svc-vlan
```

Service VLAN name	VLAN ID	Internal ports	Uplink Set name	External ports	isolate
(1) DB-Manage	(2) 4094	(3) 0/1,0/2,0/3, 0/4	(4) Group-A	(5) 0/11,0/12	(6) yes
App-Manage	4093	0/2,0/3,0/4, 0/5,0/6,0/7, 0/8,0/9	Group-B	0/13,0/14, 0/15,0/16	no

1) サービス VLAN 名

サービス VLAN 名を表示します。

2) VLAN ID

サービス VLAN の VLAN ID を表示します。

3) 内部ポート

サービス VLAN にアサインされているダウンリンクポートを表示します。

4) アップリンクセット名

サービス VLAN にアサインされているアップリンクセット名を表示します。

5) 外部ポート

サービス VLAN にアサインされているアップリンクポートを表示します。

6) ダウンリンクポート間通信設定状態

yes サービス VLAN のダウンリンクポート間の通信が不可能であることを示します。

no サービス VLAN のダウンリンクポート間の通信が可能であることを示します。

10 章 LACP の状態表示コマンド

10.1 LACP の状態表示

10.1.1 show lacp

[機能] 定義済みのアップリンクセットの LACP 定義情報を表示

[入力形式] show lacp [<uplinkSetName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセットの LACP 定義情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットの LACP 定義情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのアップリンクセットについて LACP 定義情報を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set について LACP 設定状態を表示する例

```
#show lacp

Uplink Set name          LACP
-----
(1) default              (2) yes
DB-Blade                 no
APP-Server               no
```

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) LACP 設定状態

yes アップリンクセットの LACP が有効であることを示します。

no アップリンクセットの LACP が無効であることを示します。

11 章 リンクアグリゲーション状態表示 コマンド

11.1 リンクアグリゲーションの状態表示

11.1.1 show linkaggregation

[機能] 定義済みリンクアグリゲーション情報の表示

[入力形式] show linkaggregation

[オプション] なし

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのリンクアグリゲーション情報を表示します。

[実行例]

定義されている Link Aggregation 情報を表示する

```
#show linkaggregation
```

Group	Uplink Set Name	Status	Port	Lacp
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
3	-	up	23	static
6	up1	down	26	static
7	-	down	2	static
8	up1	down	22	static
9	default	up	19-21,24-25	static
10	-	down	1	static

1) グループ

リンクアグリゲーション番号を表示します。

2) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

3) 状態

up アップリンクセットがリンクアップ状態であることを示します。

down アップリンクセットがリンクダウン状態であることを示します。

4) ポート

リンクアグリゲーションに割当てられているポート番号を表示します。

5) LACP 設定内容

static 静的にリンクアグリゲーションを行うことを示します。

active 相手装置に関係なく常にLACPDUを送信することを示します。

passive 相手装置からLACPDUを受信した場合だけ、LACPDU 送信開始することを示します。

12 章 IGMP の状態表示コマンド

12.1 IGMP の状態表示

12.1.1 show igmpsnooping

[機能] 定義済みのアップリンクセットの IGMP Snooping 定義情報の表示

[入力形式] show igmpsnooping [<uplinkSetName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセットの IGMP Snooping 定義情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットの IGMP Snooping 定義情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのアップリンクセットについて IGMP Snooping の定義情報を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set について IGMP Snooping 設定状態を表示する例

```
#show igmpsnooping

Uplink Set name          Igmp snooping
-----
(1) default              (2) no
DB-Blade                 yes
APP-Server               yes
```

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) IGMPsnoop 設定状態

yes アップリンクセットの IGMPsnooping が有効であることを示します。

no アップリンクセットの IGMPsnooping が無効であることを示します。

13 章 MLD の状態表示コマンド

13.1 MLD の状態表示

13.1.1 show mld Snooping

[機能] 定義済みのアップリンクセットの MLD Snooping 定義情報の表示

[入力形式] show mld Snooping [<uplinkSetName>]

[オプション] なし

定義済みのすべてのアップリンクセットの MLD Snooping 定義情報を表示します。

<uplinkSetName>

指定されたアップリンクセットの MLD Snooping 定義情報を表示します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 定義済みのアップリンクセットについて MLD Snooping の定義情報を表示します。

[実行例]

定義されているすべての Uplink Set について MLD Snooping 設定状態を表示する例

```
#show mld Snooping
```

Uplink Set name	MLD snooping
(1) default	(2) no
DB-Blade	yes
APP-Server	yes

1) アップリンクセット名

アップリンクセット名を表示します。

2) MLDsnoop 設定状態

yes アップリンクセットの MLDsnooping が有効であることを示します。

no アップリンクセットの MLDsnooping が無効であることを示します。

14 章 MAC 検出状態表示, クリア操作コマンド

14.1 MAC 検出状態の表示

14.1.1 show mac detection

[機能] 接続端末数制限情報の表示

[入力形式] show mac detection [<portlist>]

[オプション] なし

すべての情報を表示します。

<portlist>

・ポートリスト

接続端末制限情報を表示する物理ポート番号のリストを指定します。

複数のポート番号を設定する場合、","(カンマ)で区切ります。

複数の番号が続く場合、 "-"(ハイフン)で区切ります(例:"1-8")。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Comfig モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] 接続端末数制限情報を表示します。

[実行例]

接続端末数制限情報を表示する例

```
#show mac detection
```

Port	Entry	MAC-Address	Status	Since
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2/2	00:01:21:00:01:13	Learned	Mar 24 11:20:12 2006
		00:01:21:00:01:63	Expired	Mar 24 10:21:42 2006
2	3/10	00:01:21:00:01:33	Learned	Mar 24 12:10:22 2006
		00:01:21:00:01:23	Learned	Mar 24 11:20:14 2006
		00:01:21:00:01:43	Learned	Mar 24 15:20:23 2006
10	0/1	-	-	-
11	1/10	00:01:21:00:01:53	Expired	Mar 24 11:21:22 2006

1) ポート番号

2) 接続検出した端末数 / 接続許容端末数

3) 接続検出した端末の MAC アドレス

4) 接続検出状態

- 未検出であることを示します。

Learned 接続状態であることを示します。

Expired 検出後の非接続状態であることを示します。

5) 状態遷移時刻

接続または非接続を検出した時刻を表示します。

14.2 MAC 検出状態のクリア

14.2.1 clear mac detection

[機能] 接続端末数制限情報のクリア

[入力形式] clear mac detection [<portlist>]

[オプション] なし

すべてのインターフェースの接続端末数制限情報をクリアします。

<portlist>

・ポートリスト

接続端末制限情報をクリアする物理ポート番号のリストを指定します。

複数のポート番号を設定する場合、","(カンマ)で区切ります。

複数の番号が続く場合、"-"(ハイフン)で区切ります(例:"1-8")。

[動作モード] Privileged Exec モード

[説明] 接続端末数制限情報をクリアし、初期状態にします。

[注意] 本コマンドを実行すると該当ポートはいったん閉塞されます。

端末検出状態の初期化には 10 秒程度の時間を要する場合があります。

[実行例]

```
#clear mac detection 1
```

15 章 ターミナル操作

15.1 ターミナル操作コマンド

15.1.1 pager

[機能] ページャ機能の有効/無効設定

[入力形式] Pager
no pager

[オプション] <uplinkSetName>

・アップリンクセット名

アップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Comfig モード

[説明] ページャ機能を有効/無効に設定します。

[注意] なし

[未設定時] ページャが無効に設定された状態となります。

no pager

15.1.2 show pager

[機能] ページャの設定状態表示

[入力形式] show pager

[オプション] なし

[動作モード] User Exec モード

Privileged Exec モード

Global Config モード

Interface Config モード

Line Config モード

[説明] ページャ設定状態を表示します。

[注意] なし

[実行例]

- ページャの設定状態を表示する

```
#show pager
Pager Admin mode..... Disable          ---(1)
```

1) ページャ設定状態

Enable: ページャが有効に設定されることを示します。

Disable: ページャが無効に設定されることを示します。

16 章 IBP 情報のクリアと変更

16.1 ポートグループ情報のクリア

16.1.1 clear port-group

[機能] IBP のポートグループ関連定義のデフォルト値設定

[入力形式] clear port-group

[オプション] なし

[動作モード] Privileged Exec モード

[説明] IBP のポートグループ関連定義(アップリンクセット、ポートグループ、VLAN ポートグループ、サービス LAN、サービス VLAN)をデフォルト設定(factory-default)に戻します。

[注意] ・個別にリンクアグリゲーション、ミラーに設定したポートについては本コマンドではデフォルト設定には戻りません。ただし、ダウンリンクポートでリンクアグリゲーションが設定されているポートはデフォルト設定に戻ります。

16.2 ポートグループ名などの変更コマンド

16.2.1 rename-uplinkset

[機能] 定義済みのアップリンクセット名の変更

[入力形式] rename-uplinkset <oldName> <newName>

[オプション] <oldName>

・既存アップリンクセット名

変更前のアップリンクセット名を指定します。

< newName>

・更新アップリンクセット名

変更後のアップリンクセット名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] 定義済みのアップリンクセットのアップリンクセット名を変更します。

[注意] 既存アップリンクセット名は、定義されているアップリンクセット名を指定します。

16.2.2 rename-pgroup

[機能] 定義済みのポートグループ名の変更

[入力形式] rename-pgroup <oldName> <newName>

[オプション] <oldName>

・既存ポートグループ名

変更前のポートグループ名を指定します。

< newName>

・更新ポートグループ名

変更後のポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] 定義済みのポートグループのポートグループ名を変更します。

[注意] 既存ポートグループ名は、定義されているポートグループ名を指定します。

16.2.3 rename-vlanpgroup

[機能] 定義済みの VLAN ポートグループ名の変更

[入力形式] rename-vlanpgroup <oldName> <newName>

[オプション] <oldName>

・既存 VLAN ポートグループ名

変更前の VLAN ポートグループ名を指定します。

< newName>

・更新 VLAN ポートグループ名

変更後の VLAN ポートグループ名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Comfig モード

[説明] 定義済みの VLAN ポートグループの VLAN ポートグループ名を変更します。

[注意] 既存 VLAN ポートグループ名は、定義されている VLAN ポートグループ名を指定します。

16.2.4 rename-svclan

[機能] 定義済みのサービスLAN名の変更

[入力形式] rename-svclan <oldName> <newName>

[オプション] <oldName>

・既存サービスLAN名

変更前のサービスLAN名を指定します。

<newName>

・更新サービスLAN名

変更後のサービスLAN名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] 定義済みのサービスLANのサービスLAN名を変更します。

[注意] 既存サービスLAN名は、定義されているサービスLAN名を指定します。

16.2.5 rename-svcvlan

[機能] 定義済みのサービス VLAN 名の変更

[入力形式] rename-svcvlan <oldName> <newName>

[オプション] <oldName>

・既存サービス VLAN 名

変更前のサービス VLAN 名を指定します。

< newName>

・更新サービス VLAN 名

変更後のサービス VLAN 名を 1-32 文字までの英数字、ダッシュ[-]、アンダーバー[_]、スペース[]で指定します。

[動作モード] Global Config モード

[説明] 定義済みのサービス VLAN のサービス VLAN 名を変更します。

[注意] 既存サービス VLAN 名は、定義されているサービス VLAN 名を指定します。

17 章 Switch ファームウェア共通コマンド

Switch ファームウェア共通コマンドについては、PRIMERGY スイッチブレード(10Gbps 18/8+2)コマンドリファレンスを参照してください。

ただし、以下のコマンドは IBP ファームウェアではサポートしていません。

Command Name
use
type
vlan tag
vlan untag
egress permission
macfilter
macfilter move
ip6filter
ip6filter move
qos aclmap
qos aclmap move
ip6qos
stp 関連
linkaggregation 関連
backup 関連
vlan 関連
stp 関連
igmpsnoop 関連 (*1)
acl 関連
lan ip filter
lan ip dscp
lan ip6 filter
lan ip6 dscp
lan vlan <vlan-id>
serverinfo ftp filter
serverinfo telnet filter
serverinfo ssh filter
serverinfo http filter
serverinfo dns filter
serverinfo snmp filter
serverinfo time filter
lacp bpdu
show spanning-tree
clear spanning-tree
show vlan
terminal pager
terminal prompt

Command Name
dot1x mode
dot1x vid
macauth mode
macauth vid
macauth authenticated-mac
webauth
dot1x mode
webauth
aaa guest
aaa user supplicant vid
show webauth port
show webauth statistics
clear webauth statistics
dot1xctl initialize <port> <macaddr>
dot1xctl reconfirm <port> <macaddr>
macauthctl initialize <port> <macaddr>

(*1) V01.03 NY0035 以降で igmpsnoop localgroup は使用可能です。

IBP モードでは、igmpsnoop localgroup auto 設定時の動作は igmpsnoop localgroup join 設定時と同じになります。

18 章 コマンド実行時の影響

ポートグループ、VLAN ポートグループ Switch、サービス LAN、サービス VLAN へのインタフェースの割当て/削除、及び、isolate 設定の変更時は装置に定義済みの全てのグループでフレームが一時的に破棄されます。影響するコマンドは以下になります。

Command	Mode	Description
uplink-set	G	uplink-set の削除
uplink-set	I	interface の追加/削除
port-group	G	port-group の追加/削除
port-group	I	interface の追加/削除
vlan-group	G	vlan-group の追加/削除
vlan-group	I	interface の追加/削除
vlan-group-nativevlan	G	設定の変更
svc-lan	G	svc-lan の追加/削除
svc-lan	I	interface の追加/削除
svc-vlan	G	svc-vlan の追加/削除
svc-vlan	I	interface の追加/削除
isolate	G	isolate 設定の変更
clear port-group	P	設定の初期化

G : Global Config モード

I : Interface Config モード

P : Privileged Exec モード